

Q EUに加盟することのメリットって何ですか？

A 他国と密接な関係を作ること
得られるメリットはたくさんあります。



ワンマーケット、ワンマネーで 経済がより活発になります。

EU(欧州連合)に加盟すると、物・人・資本・サービスの移動の自由が保障される域内市場のメンバーになり、市場が広がり、経済活動が活発になります。通貨がバラバラだと両替など余計なコストがかかりますが、EUでは共通単一通貨のユーロを導入し、経済的効果を高めています。世界基準をいかに自分たちに有利に設定するかは、グローバル市場での生き残りや競争力に関わる重要なポイント。そういう点でEUはとてまもなくやっています。例えば、SDGsを作成する際、EUが国連へ積極的に働きかけて内容を提案しました。EU内で販売するスマートフォンなどの充電ケーブルの規格を統一する動きもあり、米国のApple社などに大きな影響を与えています。小国が集まって、ひとつの経済統合をつくることは、国の発展や世界での存在感を高めることにつながっているわけです。

EUの存在が世界中に影響を与え、 日本の暮らしにも関わっている？!

EUの政策がEUで活動する企業にどう影響しているか、EUで活動している企業がEUの政策にどのような影響を与えているか、その相互関係に興味を持って研究をしています。EUの経済統合は加盟国が27か国と規模も大きいです。世界経済の中での存在感も大きいため、他の地域でも経済統合体をつくる動きが1990年代以降から活発に。その流れを汲み、経済規模の大きな国が2つ以上加わって自由貿易協定を結ぶメガFTA(Free Trade Agreement)の動きが、世界のあちこちで広がっています。EUの成功が他の地域にも影響を与え、メガFTAを生み出す原点になったのです。日本はEUとメガFTAを締結しています。また、アジアには15か国が加盟するメガFTAのRCEP(Regional Comprehensive Economic Partnership)があり、日本も参加しています。EUのことを勉強すると、いま起こっているメガFTA形成が、日本に与える影響もよくわかります。



山本 いづみ 先生

Yamamoto Izumi

経済学部で学び、経済統合としてのEUをテーマに研究してきました。縁あって2005年から、本学でEU関係のことについて教える立場に。若い学生たちからエネルギーをもらったり、教えられたりすることがたくさんあり、刺激を受けています。

♡ お気に入りのアイテム



心の恋人、猫のハッチー

2008年の海の日に、沖島へ渡るフェリー乗り場の駐車場で出会いました。近江八幡で保護したのでハッチーという名前に。自分から膝に乗る人懐っこい性格で、毎晩マッサージをおねだり。存在そのものが癒して、仕事の活力にもなっています。